

2009 年度 日本 ALS 協会北海道支部総会

日時 5月31日（日）13時

場所 北海道難病センター

当日は雨天でしたが出席者49名で定刻に総会が開催されました。会のはじめに、昨年度お亡くなりになられた ALS 患者さんに黙祷を捧げました。

中村支部長の挨拶のあと来賓として北海道難病連代表理事、高田 泰一様から祝辞を頂きました。また、日本 ALS 協会理事長、長尾 義明様からのメッセージが寄せられました。

議事に入り、事務局より 2008 年度事業報告、収支決算報告の説明があり、監査委員から監査報告など満場一致で承認されました。続いて 2009 年度事業方針案、収支予算（案）の説明があり、両案ともに承認、可決されました。



また、役員改正（案）も原案通り承認され、新役員と代表中村支部長より挨拶あり、議事は終了しました。（審議された議事は席にお届けした「絆」52号をご覧ください。）

休憩の後、医療講演を頂きました。国立札幌南病院神経内科、土井静樹先生には「ALSの診断と治療、最近の動向」と題して、また、北海道難病医療ネットワーク連絡協議会難病医療専門員、蛸島八重子様（看護師）には「難病医療ネットワークの取り組みから」と題して、それぞれスライドにより詳細に分かりやすいお話でした。

引き続き、患者家族の方との交流会を講師を交えて行いました。交流会では、遠方にいる患者さんの今後の介護をどうすべきか、新しい治療薬の開発等についての話し合いがありました。

